

12月18日に開幕！！

第59回技能五輪全国大会

中央職業能力開発協会が配管職種競技・参考課題を公表

全国管工事業協同組合連合会



昨年の愛知大会の様子

第59回技能五輪全国大会は、12月18日から東京都下で開催され、「ものづくり」の素晴らしさや技能継承の重要性を伝えていく契機となることを期待されています。

この大会は、厚生労働省、中央職業能力開発協会、東京都の共催となっており、青年技能者の技能レベルを競うことにより、国内の青年技能者に努力目標を与えるとともに、技能に身近に触れる機会を提供するなど、技能尊重気運の醸成を図ることを目的としています。大会には各都道府県から選抜された全42職種・約1,300名の選手の参加が予定され、配管職種には多くの若年技能者がエントリーされています。

9月17日、配管職種競技の参考公表課題が公表されました。（中央職業能力

開発協会 <http://www.javada.or.jp/index.html>）同課題は競技当日、変更が入ったものが配布され、参加選手は図面を読み取りながら競技に臨みます。日頃練習した成果を発揮できるよう活躍を期待しています。

また、技能競技大会を活用した人材育成の取組マニュアルが同協会のホームページに公開されています。配管職種は、技能五輪全国大会の事例を掲載しておりますので、是非とも活用下さい。

なお、大会は無観客開催の可能性もあります。新型コロナウイルス感染症対策を行った上で開催します。

概要

☆日程（配管職種）

- ・令和3年12月17日(金)
競技会場下見（東京ビッグサイト）
開会式
- ・12月18日(土)
競技実施（東京ビッグサイト）
- ・12月20日(月)
成績発表、閉会式

第59回技能五輪全国大会「配管」職種競技課題図

